

# 大津町議会 広報編集特別委員会研修報告

氏名 大村 裕一郎

視察研修名：全国町村議会広報研修会

研修先：東京都渋谷区 渋谷公会堂 (LINE CUBE SHIBUYA)

期 日：令和7年8月28日(木)～29日(金)

研修テーマ：①インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう  
②スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本  
③議会活性化と連動した広報紙づくり

## 研修報告 意見・感想

### 1) 「インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう」

講師：丘村 奈央子 氏

シャープ社内報などを編集してきたご経験をお持ちの丘村氏よりご講演をいただいた。

今回の研修のゴールとして「次号以降にインタビュー記事を取り入れてみる」をゴールと設定した上で、①題材を選ぶ、②取材目的を明確にする、③レイアウトと文字数の確認、④目的に合致した質問を準備、⑤当日取材をする、⑥書くの6つのフローを細かく説明いただいた。中でも③、④の記事設計部分の誰のどんな目的のために作るかを決定した上で届けたい人に届くや反応を予想して取材を行わなくては芯がブレるとのお言葉には深く同意でき、次回以降の編集作業に役立てたい。

また、目的を深堀することの重要性をご講演いただき、目的を深堀すれば作業が絞り込めるなどぜひ実践し、省力化を果たしたいと考える。

そして、その後は取材先や読者にとってのメリットをもたらすという内容の説明やその手法を教授いただいた。これは、対象者から逆算的に考え設定した目的達成を行うというものでこれも非常に多岐に渡り使用できる考え方であった。

### 2) 「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本」

講師：渡川 修一 氏

(公社)日本広報協会広報アドバイザーである渡川氏よりご講演をいただいた。

「撮影はセンスではなくルールに則って」を芯としてお話しいただき、ルールとして、撮影する側は①どこで撮るのか(明るさなど)、②撮影機材を固定する、③人の撮り方の構図を理解する(顔の場所)、④相手との距離と高さを理解する(目線)、⑤背後にスペースを作る、⑥撮影現場ではお静かにという点と、撮影される側は短い文章に小分けして覚えやすい原稿を作る(主語と述語をくっつける)、動画は一言一句を正確に伝えるよりその人らしさや雰囲気伝えるとの内容で議会広報での動画作成の実例も踏まえご講演いただきこちらも今後大津町議会でも検討すべきではないかと考える。

3)「議会活性化と連動した広報紙づくり」～住民の政治参加を促すツールに～

講師：平山 賢治 氏

福岡県大刀洗町議会で議会広報委員会委員長を務めていらっしゃる平山氏よりご講演をいただいた。

まずは、最初に大刀洗町議会の議会活性化の取組を紹介いただき、その取り組みの一部で広報委員会のあり方を追求してきた広報委員会の歴史をご紹介いただいた。

そして、その後に編集を行う上でのポイントなどをご紹介いただいた。中では、例を挙げての要約の手法や編集の流れ、特にスケジュールは非常に過密に組まれており、本町の広報委員会でも一度実践してみる価値があるのではないかと考える